



# やず町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会  
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



▲早場米の田植え

## 第37号

(平成26年5月)

### もくじ

- 3月定例会  
平成26年度当初予算を可決 ……………2
- 一般質問（13人が質問） ……………6
- 6月定例会（予定） ……………18



町の花「さつき」

# 平成26年度 当初予算を可決 101億800万円

3月  
定例会

3月6日～3月27日

平成26年

第3回

平成26年3月6日から27日まで、3月定例会を開催した。

条例制定1件、条例の一部改正6件の7議案や、15会計の当初予算、11会計の補正予算等33議案、追加議案3件を含む、43議案が提案された。

一般会計当初予算の一部を修正可決した他は、すべて原案可決とした。

一般質問は13人が登壇、町政全般についてたじた。

また、陳情4件を審査、陳情1件を採択、2件を不採択、1件を継続審査とした。

## 一部を修正

### 一般会計当初予算

歳入・歳出の総額が101億800万円、対前年度比6・6%増の新年度予算が上程された。予算案のなかで総務管理費の若桜鉄道対策費のうち、利用促進助成補助金の83万9千円は削除、予備費に振り替えて、当初予算案は修正可決とした。

これは消費税増税対応分としての若桜鉄道への補助金であり、上下分離の経営方針に反する。経営努力の結果によって判断される事項であり、削除するのが妥当と判断したため。

### 主な予算項目

- 本庁舎耐震補強事業  
2億7601万円  
現本庁舎の耐震工事を行い、工事中は仮庁舎で業務を行う。
- 過疎地域活性化施設整備事業  
3518万円  
才代集会所建て替え費用
- 防災無線管理費  
1559万円
- 知事・県議会議員選挙費  
735万円  
平成27年4月執行予定。
- 臨時福祉給付金支給事業  
8500万円  
消費税増に伴う低所得者への負担緩和措置。
- 若桜鉄道対策費(修正後)  
1億2843万円  
施設の保守管理や軌道の維持管理等を行う費用。
- 町営バス事業  
2903万円
- 社会保障・税番号制度事業  
799万円
- 保育所運営費  
2億7028万円
- 中山間直接支払交付金事業  
4203万円
- 野生鳥獣被害防止事業費  
2836万円  
猪・鹿等捕獲奨励金他。
- 山上工業地区造成事業  
2306万円
- スクールバス管理運営費  
2296万円
- 八頭中学校準備対策費  
9438万円  
ランチルームの改修費用等。
- 中学校建設費  
1億6823万円  
八頭中学校の増築工事費。

主な条例の制定・改正

◆鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定

有害鳥獣の捕獲体制を強化するために制定するもの。

実施隊の業務内容は、有害鳥獣の捕獲や固体確認、被害農家からの相談、追い払い、防護柵の設置など。

◆町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正

大江線の路線延長及び国中線の新設と、これに伴う利用料金表を併せて改正するもの。

◆手数料徴収条例の一部改正

平成15年8月からスタートしている「住基カード」の交付手数料500円の免除を、平成27年3月31日まで延長し、交付促進を図ろうとするもの。

◆霊きゆう自動車使用条例の一部改正

近年、使用回数が減少傾向にあることから、使用者を明確にし、多くの町民に利用してもらおうとするもの。

◆特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

る条例の一部改正

鳥獣被害対策実施隊の設置に伴う隊員の報酬（一日五千円）を決めるもの。

◆非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

公務災害補償等責任共済等に関する法律の改正に伴い、5年以上勤務した団員の退職報償金の最低支給額を5万円引き上げて20万円とするもの。

人事案件

人権擁護委員に、奥田啓一氏（山田）と徳永礼子氏（宮谷）が推薦され同意した。

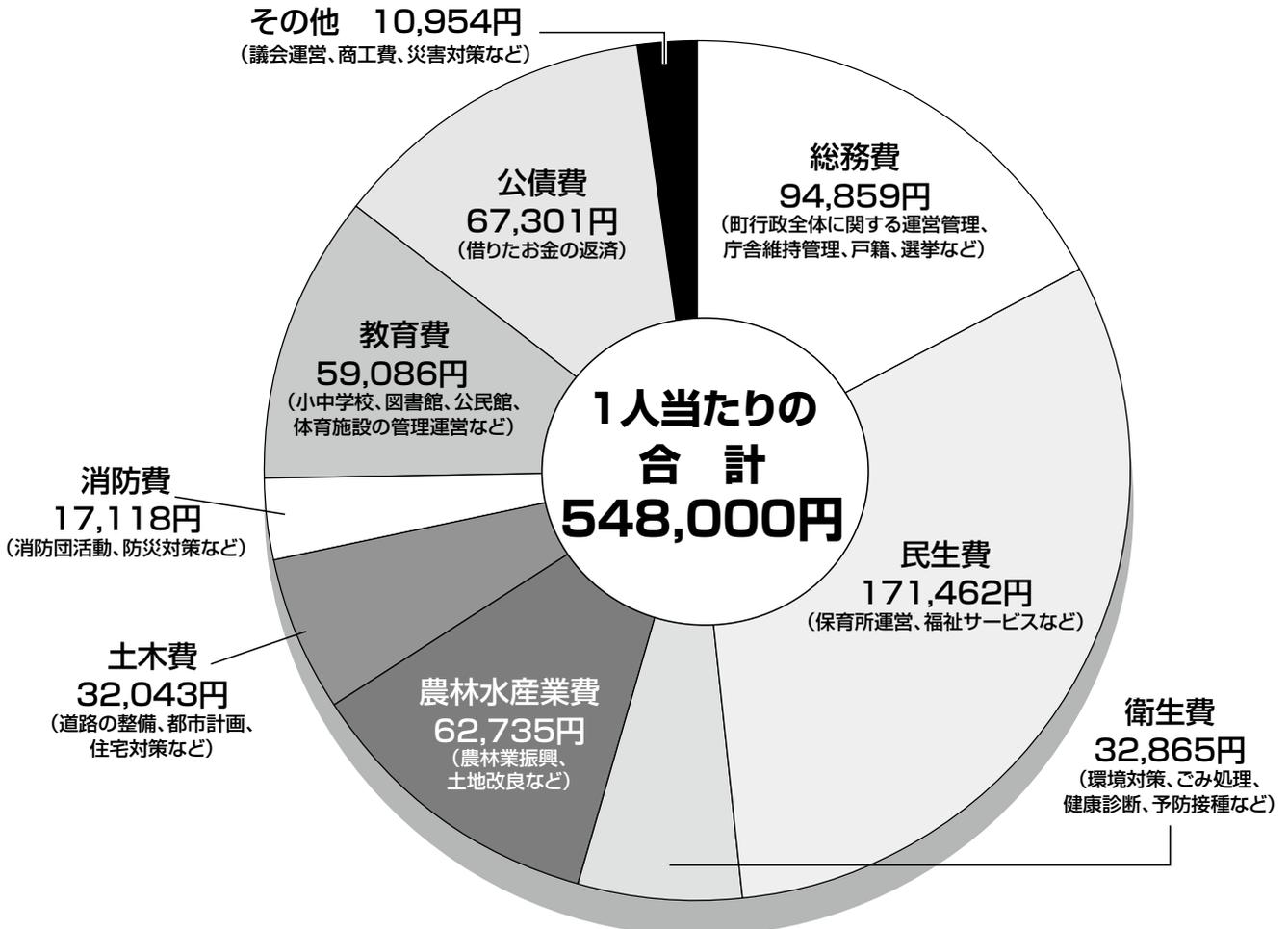
公有財産取得

郡家東保育所（仮称）新築用地として、稲荷地内に3筆7457平方メートルを4108万円余りで購入するもの。

農地転用や開発許可等の手続きが完了した。

郡家東保育所（仮称）は平成27年4月開所の予定。

町民1人当たりの予算額（一般会計予算）



平成26年3月1日現在の住民基本台帳で算出

平成26年  
第1回臨時議会

1月21日

条例制定・改正

◇八頭町地域の元気活性化基金条例の制定

県の緑の産業再生プロジェクト事業関係で、地域の元気臨時市町村交付金が1億2000万円交付されることになり、地域の活性化を図ることを目的に基金を造成するもの。郡家東保育所(仮称)整備事業の財源に予定。

◇八頭町いじめ問題調査等委員会条例の制定

町の小・中学校において、いじめが原因と考えられる児童・生徒の重大な事態に關し、第三者的な観点から事実関係の調査・検証を行うための委員会を設置するもの。

質疑

条例中の八頭町いじめ問題調査委員会と検証委員会の違いは何か。

答弁 吉田副町長

調査委員会は教育委員会部に局に、検証委員会は町長部に設置する。

質疑

ささいなことだと通報があつても学校側が取り上げない恐れはないか。

答弁 藪田教育長

あつてはならないことだ。

反対討論 高橋信一郎議員

国に言われて形式だけを取り繕つたような内容ではだめだ。

賛成討論 下田敏夫議員

形をつくつてその中の運営方法だ。

賛成討論 西尾節子議員

つくることが先決だ。

◇特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部改正

八頭町いじめ問題調査委員会及び八頭町いじめ問題検証委員会委員の報酬を追加するもの。  
1日 9000円

平成25年度補正予算

◇平成25年度一般会計補正予算(第9号)

一般会計の歳入歳出にそれぞれ1億4678万円を追加し、予算総額は111億6384万6千円となった。

主な歳出

- 人権推進事業費 17万円
- いじめ問題検証委員会の報酬
- 交通政策費 147万円
- 地域元気活性化基金費 1億2000万円
- 地域の元気活性化基金積立金
- 除雪対策費 39万円
- 落岩消雪施設の修繕料
- 中学校管理運営費 832万円
- 中学校関連の駐車場用地取得費
- 介護基盤緊急整備事業補助金 2625万円
- 介護基盤緊急整備事業の補助金返納に要する費用

平成26年  
第2回臨時議会

2月19日

平成25年度補正予算

◇平成25年度一般会計補正予算(第10号)

一般会計の歳入歳出にそれぞれ6億6354万千円を追加し、予算総額は118億2738万7千円となった。

主な歳出

- 自立支援制度事業費 481万円
- 障害者地域生活支援事業 111万円
- 農地集積総合推進事業 730万円
- 保育所施設整備事業(仮称) 6億6286万円
- 郡家東保育所施設整備

答弁 吉田副町長

遊戯室は200人入れるが、廊下なり隣の部屋を使えばプラス150人は入れる。また駐車場は多くの人が集まる場合は園庭を利用したい。

○野生鳥獣被害防止事業費 1375万円

捕獲奨励金とわかさ29工房負担金

質疑

わかさ29工房の増築及び改修の工事費について若桜町と八頭町間の覚書がないが。

答弁 吉田副町長

締結したい。

◇平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

予備費を充当のため予算の総額に変更なし。  
○総務管理費 28万円  
平成26年度からの制度改正に伴うシステム改修委託料

## 新議長に河村久雄議員

産業福祉常任委員会委員長に

小林久幸議員を選任



議長  
河村 久雄

4月18日に開催された第4回臨時会で議長の岡嶋正広議員から、一身上の都合による議員辞職願が提出さ

れた。  
これを認めて、議長選挙を行い、河村久雄議員を新議長に選出した。  
この人事に伴い、河村久雄議員は産業福祉常任委員会委員長を辞任、後任に小林久幸議員を選任した。

### 自治功勞表彰

1月25日自治功勞として次のとおり表彰された。

#### ○八頭町功勞表彰

町村議會議員として12年以上在職し、功勞のあつた者  
山本 弘敏 議員  
谷本 正敏 議員  
桑村 和夫 議員

2月28日自治功勞として次のとおり表彰された。

#### ○鳥取県町村議會議長会表彰

町村議會議員として13年以上在職し、功勞のあつた者  
池本 強 議員  
山本 弘敏 議員

## 請願・陳情の審査

### ○採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
消費税の複数税率導入と新聞への軽減税率適用に関する陳情	鳥取県朝日会（朝日新聞） 会長 小椋 和彦 他5名	陳情の趣旨を認めた	意見書提出

### ○継続審査

件名	提出者	理由	備考
八頭中学校開校に伴う通学生の列車利用への陳情	若桜鉄道株式会社 代表取締役社長 原 卓也	なお慎重審査を要する	—

### ○不採択としたもの

件名	提出者	理由	備考
船岡中学校グラウンド存続を求める陳情書	佐々木 寛一	学校・保育所統合等調査特別委員会によって方向性が決定されており、その整合性をとる必要がある	—
「特定秘密の保護に関する法律」（秘密保護法）の廃止を求める陳情書	憲法改悪反対 鳥取県共同センター 代表 田中 暁	この法は、国のあるべき姿であり、運用方法については現在、国会で議論中であり、即廃止とはならない	—

キャンプ地誘致

グラウンドホッケーを提案するが

町長／考えてみる



尾島 勲 議員

質問

2020年東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地を八頭町に誘致できないか。昭和60年に行われた、わかとり国体にて開催されたグラウンドホッケーの事例がある。

グラウンドホッケーのキャンプ地誘致を実現することにより、今後も優秀な選手を数多く輩出するための、環境整備に繋がると思われる。

キャンプ地誘致が八頭町のテーマである「人が輝き 集い 夢広がるまち」を実現する絶好のチャンスと捉え、活用することを提案する。

町長のキャンプ地誘致についての取組み及び見解は。

答弁

井山町長

キャンプ地誘致は町単独では難しく、県や市、近隣の町との協力が必要である。

問題点が多く、現段階では県の動向を見ながら町としての方向性を検討

したい。

質問

鳥取県議会11月定例会において平井知事は「キャンプ地誘致は、八頭町の思い、動き次第だ」と答弁している。

答弁

井山町長

知事の発言に対する、町長の考えは、知事がそこまで言及しているのであれば、考えてみる。

**八頭町 関西事務所**

町長／4本の柱を  
中心に進める

今後の在り方、  
具体的な施策は

質問

八頭町関西事務所は、八頭町と関西圏の情報・人・物・経済、いわゆるお金の交流の場、橋渡しの場であり、大変重要な使命を負った部署である。

八頭町関西事務所について。

①開所した当時の目的・目標及びそれを達成するための具体的な手段は。  
②所長を選出・任命する際の基準は。

③年度ごとの目標（数値）、それに対する成果（数値）は。

④今後の関西事務所の在り方と、それを達成するための具体的な施策は。  
⑤関西事務所を民間委託指定管理者で運営してはどうか。

答弁

井山町長

①人脈づくり、情報発信、販路開拓、交流の拡大、観光PRなど、町の認知度を高めることが目

的だ。  
②特に定めはない。  
③平成25年度も、前年と同様だ。  
④交流の拡大、イターン・Uターン者などの定住促進、企業誘致、観光客誘致の4本柱だ。  
⑤今後は民間出身の方も必要だと思う。

質問

事務所の目的・目標は数値としてあるべきで、達成時の指標になる。必ず作成して頂きたいが、町長の考えは。

答弁

井山町長

出来るものには、目標に数値を入れる。





高橋信一郎 議員

いじめ問題

# 調査委員会と検証委員会とは

## 教育長／調査委員会は教育委員会、 検証委員会は町長が設置

**質問**

学校統合に際して、多くの保護者・子どもがデメリットとして上げていたものが、いじめの増加と対応の不安だった。

八頭町いじめ問題調査等委員会条例では、重大事態発生時に調査委員会を設置し、更に問題あれば検証委員会を立ち上げるようになっていて、この両委員会の

- ① 性格と機能は。
- ② 構成メンバーは。

**答弁**

荻田教育長

① 調査委員会とは、学校から重大事態発生時の報告を受け、調査の必要が生じた時に調査・審議をし、結果を教育委員会に報告すると共に、いじめ防止対策のための指示等を答申することが役目。

② 委員は、第三者機関として5人以内となっている。児童相談所、県警本部、弁護士、精神科医、臨床心理士等に委嘱するが、いじめを受けたとされる側の推薦の枠も確保する。

**答弁**

井山町長

① 教育委員会より報告を受けた町長は、重大事態への対処又は同種の事態の発生防止のため必要があると認める時は、検証委員会を設けて調査を行なうことができる。調査を行ったときは、その結果を議会に報告しなければならないとなつてい



▲ 岩淵橋の往来

### 橋梁改修

## 岩淵橋の今後の措置は

## 町長／他の予算項目で実施する

② 委員のメンバーの中で、先の臨時会では町の顧問弁護士としていたが、これは間違いだと思

**質問**

岩淵橋の改修又は架け替えについて、7年位前から毎年地元地域から陳情が出ている。地域の幹線道路としても整備が遅れ、危険を伴う状況にも拘わらず、あまりに放置され過ぎている。

前町長も生活道であり重要な道路として認識されていた。平成23年に出された地域の要望書、24年と26年の要望書の時も「3年後以降の実施見込み」と回答されている。この不誠実な回答の内容、仕方は一体どういうことか。

本年度から長寿命計画に基づき、100メートル以上の大型橋から順次修繕を行なっている。国の予算配分次第だが、平成29年度以降の取り組みになると考えている。ただし、全体的な予算では少し早いとも言えるが、他の予算項目で実施する。

**答弁**

井山町長

岩淵橋は延長16・7

○その他の質問  
役場職員の政治的中立性について



西尾 節子 議員

食育推進計画

食育推進はこれでよいのか

町長／推進計画に基づき進めている

質問

食育推進は、町民目線で何がどう動いているのが見えないように感じている。スローガン、重点目標、各分野の連携などにどう取り組んできたか。

答弁

井山町長  
食生活改善推進員の地域での活動を支援するため、各種研修会を開催するなど十分連携を図っている。

生産者と事業者分野を連携して取り組んだ「八頭町マルシェ」では、食育コーナーを出店し、一日に必要な野菜350グラムの計量や、箸の持ち方、特産品のクイズコーナーを設けて食についての情報提供を行うなど食の重要性等を発信した。また、男性に対する料理講習会を実施するなど公民館や社会福祉協議会などとも連携を図りながら取り組んでいる。保育所分野では、適切な栄養摂取により健康増進を図り、食習慣の確立

質問

のために給食献立の検討を行うなど、保護者に対して食育の重要性について講話を行っている。学校分野では、学校保健委員会に出席して、食の取組状況を共有するなど連携を図っている。

質問

給食の食べ残しを堆肥にして野菜を育てて子どもたちに提供する「学校給食フードリサイクル事業」を実施したところ、生徒の給食の食べ残しが大幅に減った事例もあるが。

答弁

井山町長  
食育計画の基本である「おいしいね みんなの笑顔で心も体もかがやく八頭町」というようなものを発揮したい。

統合後の名称

保育所を保育園に  
町長／考えていない

質問

今年度建築予定の保育所が「郡家東保育所（仮称）」となっている。一つの考え方だ。まだ統合されていない



▲ 国中保育所

答弁

井山町長  
保育所は、児童福祉法に基づき児童福祉施設の一つで、法律上の用語である。

全国的には「〇〇保育園」「〇〇保育所」とどちらの自治体もある。県内の公立保育所の状況は、保育所数は125施設あり、保育所が40、保育園が78、子ども園などが7施設である。本町は設置時から「保育所」としており、現在のところ施設名を変更することは考えていない。

○その他の質問  
土曜授業について



山本 弘敏 議員

災害発生

夜中の避難勧告・避難指示の発令は

町長／出すべきと考える



▲ 八東川・船久橋たもとの水位計

質問

昨年10月16日未明に大型で強い台風26号は、広い範囲を風速25m以上の暴風域に巻き込み、伊豆諸島付近から関東・東北の太平洋沿岸の海上を北上した。

東京の大島町（伊豆大島）では記録的な大雨となり、大規模な土石流が発生し、多数の住宅が倒壊して多くの死者や行方不明者が出た。

- ① 本町の避難勧告や避難指示を出す場合は何を基準にしているか。
- ② 夜中に気象庁や県から警戒情報が入った場合、避難勧告や避難指示を出すか。
- ③ 休日や夜など守衛との

連絡方法のマニュアルはできているか。また訓練はされているか。

答弁 井山町長

① 町内には徳丸八東川、船岡船久橋付近、下門尾

私都川に水位計があり水防団待機水位・氾濫注意水位・避難判断水位・氾濫危険水位の各水位に分類されている。

③ 宿直室に緊急時の連絡先一覧表を置いている。訓練は毎月1日に宿直員全員の研修会を実施している。

地区公民館

館長・主事定年制の理由

教育長／マンネリ化防止

質問

館長の定年は75歳未満で新規選任時は70歳以下、また主事の定年は70歳未満で新規選任時は65歳以下となっている。教育長に伺う。

充実」とあるが、定年制により地区公民館が成り立ちにくくなるとすれば、矛盾するのではないか。

答弁 井山町長

① 定年制を設けた理由は、

① 定年制で交代することにより、公民館事業も充実すると考える。

② 人選が難しくなる地区公民館の心配はなかったか。

② 郡家地域も旧小学校単位で公民館が必要では。

② 平成19年の「八頭町の教育を考える会」の報告に、「地区公民館は小学校区の設置が望ましい」とある。小学校の統合も平成29年度の方向性が出ている。これらとあわせて検討したい。

③ 最終的に受けていただけの人がなかった場合の考えは。

③ 公募により募集することになる。

次に町長に伺う。

○ その他の質問

① 公約に「公民館事業の

公民館の管理について

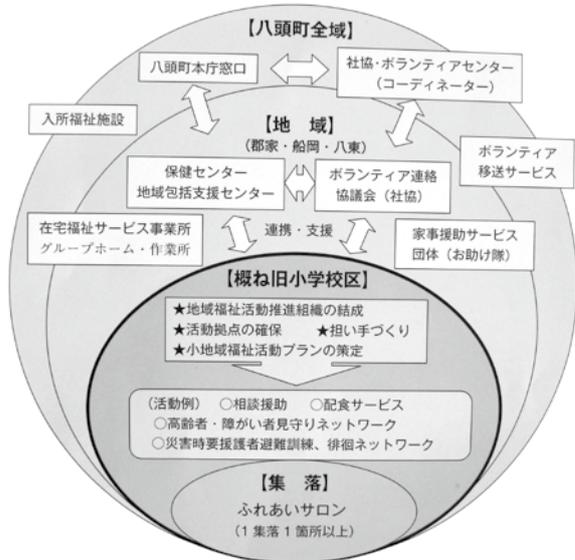


桑村 和夫 議員

地域福祉計画

進捗状況は

町長／26年度、中私都、下私都、大御門、郡家東を考えている



▲ 地域福祉のイメージ

質問

①25年度手あげ方式で取り組まれたが現在の状況は。

②24年度モデル地区の状況は。

③地域福祉計画では旧小学校区としている、地区によって拠点施設に差があるがどのような対応を考えているか。

答弁 井山町長

①25年度、大御門地区と下私都地区に事業の説明

に行ったが、理解が得られず実現できなかった。25年秋に大江地区に事業説明を行い、26年2月から取り組んでいただくことになった。

26年度は中私都、下私都、大御門、郡家東地区を考えている。

②上私都地区では、エコクラブや体操教室、認知症の高齢者の見守りを行っている。

済美地区では、まちづくりカフェを中心に取り

組んでおり独居高齢者などに声かけを行っている。

安部地区では、まちづくりカフェを中心に独居高齢者、高齢者世帯、日中独居高齢者を対象にサ

ロンを開催している。

③旧も含めた小学校区で活動組織を立ち上げて、地区がかかえる課題を解決し、地区での支え合い活動の仕組みを住民と一緒につくっていくとし

ている。基本的には統合により使われなくなった、保育所など町有施設を中心に整備していく。

地区公民館

旧小学校区規模が適当と思うが  
教育長／皆様の意見を伺い  
判断したい

質問

①これまで指摘してきた地区公民館の地域間のバランスが取れていない状況について検討することのことだったが、どうなったか。

ことだ。平成29年度に小学校の統合がなされ、小学校区での公民館設置となると現行制度を大きく変更することになり新たな合意形成が必要だと思っ

ら、旧小学校区ごとに地区公民館を設置しなければ事業に取り組めないとは考えていない。地区公民館のあり方については、いろんな意味での合意形成が必要とされている。

答弁 藪田教育長

①審議会を開いて検討してきたのではなくて、内部検討をしてきたという

して、開館日をさらに拡充していくことも選択肢だと思っ

た。大きな課題として、皆様のご意見を伺いながら判断していきたい。



谷本 正敏 議員

## 町道延長

# 町道稲荷鳥取線は

## 町長／今後の課題と考える

### 質問

将来、八頭町全体の道路網の一部改善、延長は町内の経済効果にも極めて影響大であり、ぜひ検討していただきたい。

この道路は旧郡家町時代の発注で、昭和52年頃の施工であり、既に36年経過している町道である。建設当時は様々な条件等が発生し、現在の位置で施工が完了している。

その施工場所は堀越と稲荷の中間点で県道より郡家東小学校側に分岐している町道稲荷鳥取線であり、放置状態となっている。

時の変革は想像以上に進み、総合的に社会状況を直視すれば交通渋滞の解消、経済効果等は歴然と向上するものと考えている。

以上の留意点を勘案し、町道稲荷鳥取線の延長を実現するために町長の判断を。

### 質問

井山町長

町道の延長については、鳥取市は「開発は特定区域内で総合的な都市計画を目指す」とされ、

外部とのアクセスを限定し、町道の接続計画は生かされなかったと聞いており、現在に至っている。基本的には道路整備は

終了したと思っっているが、今後、課題となる項目があれば、懸案事項として考える。

い要望をすべきと考えるが、町長の考えは。

### 回答

井山町長

県道除雪は、積雪が10センチメートル以上で出動し除雪対応しており、苦情及び要望は受けていない。

融雪装置は水源や排水処理等の地理的問題と維持管理上の課題もあるが、重要路線である本路線は通勤、通学を担う路線であり今後現場の状況を確認し、検討する。

## 融雪装置

# 県道郡家鹿野気高線は

## 町長／今後の要望等の状況を 確認し検討する

### 質問

近年、世界的な異常気象により災害が多発している。

雪害対策として、まず本町本庁舎を下った交差点より、久能寺、船久橋までの県道郡家鹿野気高線に融雪装置を、県と協議し実現すべきだ。

現在国道29号線から郡家駅を左折し、要望箇所の交差点までは既に融雪装置は施工済みである。鳥取自動車道が開通して

県内も本格的な道路網になり、非常に喜ばしいことであると思うが、県行政に対し本町として強



▲ 八頭高付近の県道郡家鹿野気高線



小倉 一博 議員

補助事業

# 成果の検証は

## 町長／事業評価を行い 検証している

**質問**

財源が縮小するなか、財政の効率運営は自治体の最大の関心事だ。当初予算について問う。  
①町民への補助、事業者への補助等多くの補助金が組まれている。補助金予算化の考え方と目的、成果の検証は充分行われているか。  
②設備の更新や修繕費用について予算化の基準はあるか。

**答弁** 井山町長

①国・県の補助金や負担金を見ながら、緊急性や必要性を勘案している。町の補助事業は事業内容や決算等を確認検証して、公益上必要な部分を補助する。行政評価制度のも



▲ みどりの少年団で山見 (大江小)

と、事業評価を行い、事業の必要性や効果等検証して予算化している。  
補助金の交付目的を果たすべく補助率の見直し、額の上限設定、事業廃止など効果的な財政運営を考えている。

②基本的には総合計画、町づくり計画等の計画に基づき取り組む中で、危険度や緊急度の高いものを優先する。震災以降耐震化等で有利な財源があるものは前倒しで取り組

んでいる。

担当課の要求に対して

は、保守管理の状況、費用対効果、緊急度等勘案して査定している。

### いじめ防止 対策推進法

## 子どもたちの生活支援を 教育長／法に沿って対応する

**質問**

子どもたちが健やかに育つことが町民すべての願いと思う。

本町では33人学級として目が届きやすくしている。

例ができて対処できると思っている。

**質問**

心の問題で非常に微妙な面があるが、学校の委員会に保護者なり、地域の意見が入ったほうがいいように思うがどうか。

**答弁** 藪田教育長

委員会にはかる案件がないというのが理想と思うが、担任が一人で抱え込まないようにチームで対応してほしいと伝えられている。保護者が入っていただくことに問題はないと思う。

**答弁** 藪田教育長

現在の国の基準は1クラス40人だが、県が35人

4月から動き出せる。緊急事態への対応も条

この度、いじめ防止対策推進法が成立し、学校や学校の設置者、県の対応が明文化され、関係者の連携を求めている。  
本町では学校統合を控え、子どもたちの生活環境が大きく変わろうとしている。  
学校、社会教育現場での子どもたちの生活支援について教育委員会としての認識は。

新中学校は統合時17クラスを想定、東部でも4番目に大規模な学校となる。  
いじめ、不登校に対応する加配教員等要望していく。今までできなかった部活動も可能になると思っている。保護者と学校や地域が役割を分担しつつ連携を図れる体制づくりに努める。  
いじめ防止について、学校として常設の委員会や、基本方針が必要となるので準備を進めている。4月から動き出せる。緊急事態への対応も条



川西 聡 議員

本人通知制度

事前登録型から不正取得通知型へ変更しては

町長／導入の自治体もあり、今後研究する

質問

本人通知制度とは、本人以外の者が戸籍謄本や住民票の写し等を請求した時に、本町がその請求事実を対象となる戸籍に記載された本人に通知する制度である。本町は、事前に登録した者に限り通知している。

本町の制度は、町民が関係する遺言書作成・訴訟・強制執行・保全処分等で弁護士・司法書士等の正当な権利行使に支障を及ぼす恐れや行使の妨

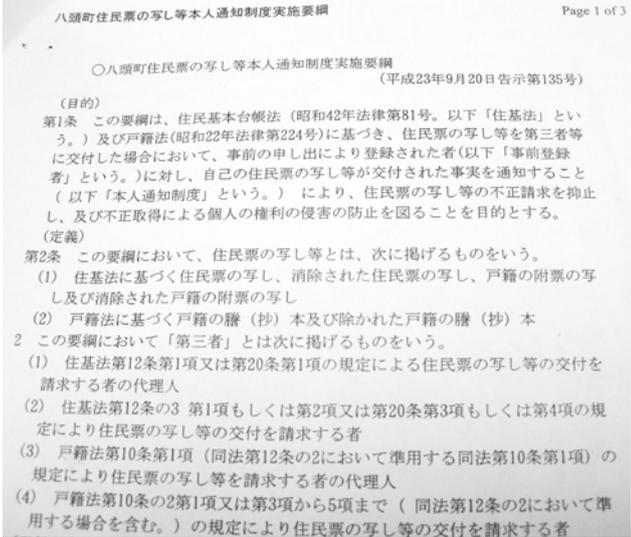
げになる事が懸念される。

①本町の制度は全く問題はないとの認識か。

②運用不正な請求がされた事が事後的に判明し、厳格な手続きにより事実が認定された場合に、被請求者である本人に通知する「不正取得本人通知制度」に変更するべきではないか。

答弁 井山町長

①日本弁護士連合会は、国民の正当な権利行使が出来なくなると主張して



▲ 本人通知制度実施要綱より

昨年民法改正では、最高裁判決を受け「婚外子の遺産相続分を、嫡出子の半分」としていた規定が削除された。民法上の格差是正は行われたが、保育料や住宅家賃等の所得税法や地方税法の改正の見通しは立っていない。本町は、子育てで格差を生むべきではなく、非

子育て支援

みなし寡婦（夫）控除の実現を町長／町の考え方を整理して検討する

いる。そのような意味では全く問題がないとは言いがたいが、本町の制度が不正取得の防止や抑止力になっている事は間違

いない。

②不正取得型は登録型のように、第三者が取得したものを全て通知するものではなく、犯罪や不正

が認められた場合に通知するもので問題はある。全国では既に導入している自治体もあり、今後研究したい。

質問

寡婦（夫）控除は、法律婚を経た配偶者の死亡・離婚した人を対象に所得税等を控除する制度である。

答弁 井山町長

本来、税制改正により所得税法等で適用され、保育料等に反映される事が望ましいと考える。国が制度改善すべき問題だ。

答弁 井山町長

町独自で実施するのは難しいと思うが、考え方を整理して検討する。

○その他の質問  
介護保険制度の改定に伴う町の施策と影響について

国は「地方から議論して積み上げて来なさい」と言っている。法の制度

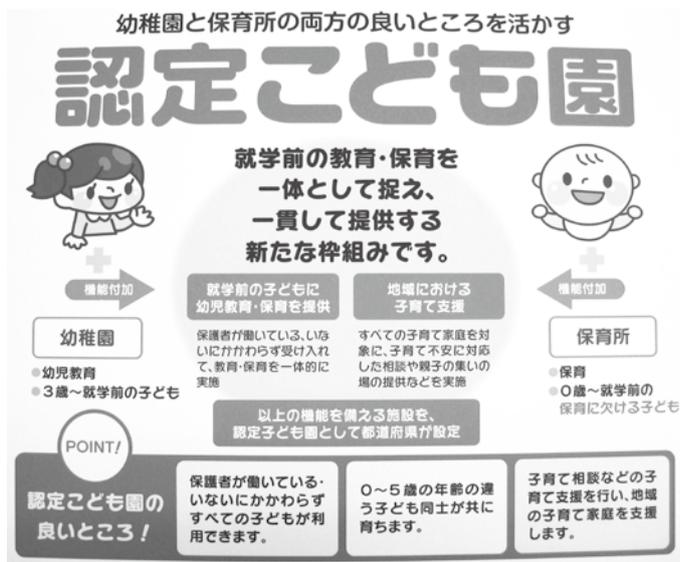


河村 久雄 議員

保育施設

認定こども園は

町長／新年度に県と意見交換してみたい



▲ 認定こども園の概要

【質問】

本町の子育て支援の施設は保育所であり、幼稚園は文科省の所轄で、それぞれ長所短所がある。両方のよい所を兼ね備えた「認定こども園」を取り入れて実施する考えはあるか。

【答弁】 井山町長

幼稚園の導入も将来的に考えなければならぬが、具体的には27年度からの5力年の「子ども

子育て事業支援計画」の中に盛り込む必要がある。

【質問】

保育所の大方のものを「認定こども園」とする国の方針、県に於いても順次その方針を進めていくようだ。

郡家東に建設される保育所を認定こども園とした場合、今の建屋で対応できるのか。

郡家東に建設される保育所を認定こども園とした場合、今の建屋で対応できるのか。

【答弁】 井山町長

新年度になつてから県と早々に意見を交換してみたい。同じ部屋で対応できる。

【質問】

郡家東保育所（仮称）の進捗と保育料無償化の考えは。

【答弁】 井山町長

保育所は7月上旬から27年2月まで本体工事、4月開所の予定。保育料無償化は、交付税が減額される中で困難であると考えている。

福祉業務

ワンストップサービスは

町長／現状を変えてみたいと思う

【質問】

現在、福祉関係の業務は事業所を含めて船岡庁舎、本庁舎、宮谷地内の保健課、包括支援センター、社会福祉協議会等がある。

【答弁】 井山町長

全国的な高齢化社会の中で法の改正も考えられ、相談窓口が多岐にわたる事例がある。一カ所の窓口だけでは対応が困難となり相談者を右往左往させる事が考えられる。

関係する業務、課を一カ所に集めてワンストップサービスを行い、町民

の利便性を図ることが八頭町にとって一番ではないか。

業務内容を見ると社協との連携も多くの業務で必要なものがあり、業務量も年々増加し、手狭な状況だ。

公用車の台数も多く、保管場所の事も無理かと考える。

問題は駐車スペースが一番の課題のようだ。こおげドームの多目的

【質問】

問題は駐車スペースが一番の課題のようだ。こおげドームの多目的

【答弁】 井山町長

現状を変えてみたいと思う。

○その他の質問



柴田 秀之 議員

予算

# 26年度はいかに

## 町長／今後を加味した 予算編成だ



▲ 増築中の中央中学校

質問

一般会計予算101億800万円で前年度に比べて6・6%増、金額にして6億2800万円の増加をみている。町債は前年対比41%増、金額で3億2700万円の増加となっている。

予算について、一番関心があるのは、お金が何に使われているのかだ。われわれ町民は、景気の

悪い時は財布のひもをかたく締める。本町の予算はどうなっているのか。

①27年度から交付税の縮減が始まる、26年度財政見直しについて

②人件費の抑制策はどのようになっているのか

③町債の公債費比率は

④町税の前年対比、滞納分の徴収対策、時効消滅債権は

⑤町の契約方式は

答弁

井山町長

①今後、5年間の主要事業等を加味して予算編成した。

②定員適正化計画により、27年4月239人の計画を立てている。

③予算額で12%、前年度比0・4%の増加見込みであり、抑制を図りたい。

④前年度より0・4%増の540万円。滞納分の徴収対策は専門員を配置し回収を図る。時効等による消滅債

権もある。

⑤従来の指名競争入札としたい。

質問

24年度の人件費は2億4500万円、県内市

町村の中で一番高い。予算のうち人件費は7500万円減少しているが、7名の定年退職によるものか。

質問

自治法234条の規定

に一般競争入札が原則とある。本町はなぜ一般競争入札を行わないのか。

答弁

井山町長

現状では一般競争入札はなかなか難しいと考えている。検討課題である。

### 土曜授業

### 実施アンケートは

### 町長・教育長／取り組む方向である

質問

本町の土曜授業への取り組み、また土曜授業のアンケートの実施について何う。

めて行きたい。

答弁

荻田教育長

社会教育の分野であれば授業は組めると考えているので検討をしている。

質問

アンケート調査の実施については

答弁

荻田教育長

実施できることから取り組んでいく方向で、進

5月の連休以降に、PTAの役員に向けての調査を考えたい。

五輪対策

# 外国チームのキャンプ誘致を

## 町長／県と協議をする



下田 敏夫 議員



▲ 八頭高校ホッケー場

質問

11月県議会で、県教育長が次のように答弁している。

「現在、来年度予算において国内外のトップチームの合宿を誘致するための関係者会議の立ち上げを検討している。

八頭高校のホッケー場も候補先として考えられる。八頭高校ホッケー場

は平成28年度の全国高等学校総合体育祭のホッケー競技のメイン会場の予定だ。この大会に備え人工芝の張り替えを来年度予算で考えている。

キャンプ誘致ができないか視野に入れ、市町村等と連携を図りキャンプ誘致に向けて戦略を立てていきたい」

県は前向きである。ま

だ東京五輪まで時間的余裕がある。本町に「誘致対策室」を設けキャンプ誘致の可能性を探り、具体的実現性を検証したらどうか。

だ東京五輪まで時間的余裕がある。本町に「誘致対策室」を設けキャンプ誘致の可能性を探り、具体的実現性を検証したらどうか。

### 予算書

### 全戸配布を

### 町長／検討して配布を考える

答弁 井山町長

キャンプ地として誘致が実現できれば、これが起爆剤となり、地域の活性化、スポーツ人口の拡大、競技力の向上のほか、町の多くの子どもたちの励みにもなる。今後、町としての方向性も県の動向を注視し、できるだけ早く県と協議をする必要がある。

質問

予算の内容について、これまで町民の皆様への周知はどのような方法で行い、現行の方法で十分との認識か。

「誰のための予算か」を考えると、1年間の町の計画書である予算書を「わかりやすい予算書」(仮称)として町内各戸へ配布すべきと考えるが。

答弁

井山町長  
予算は言うまでもなく

町民のものである。自治基本条例第26条にあるように、予算等の公表は町民の皆様方に対し、わかりやすく公表することが重要だ。

現在の財政状況を考えて、数十ページにわたる別冊として作成し、全戸配布することは難しい。「広報やず」への掲載ホームページへの掲載が効率的と考える。

質問

住民参加の基本は、町

答弁 井山町長

主要事業の目的や内容を広報など別冊で検討し、配布を考える。



池本 強 議員

介護事業

補助金返還を問う

町長／補助金が対象外経費に

質問

1月21日に開催された臨時会で、介護基盤緊急整備事業補助金返還に関する補正予算が可決された。

これは21年度事業で、社会福祉法人やが実施した小規模多機能型居宅介護事業所の整備において、補助金2625万円が対象外経費である備品、入浴・厨房関係備品に充当されていたことが判明し、今回それを返還することになったものである。

①不適正な事務処理がなぜ発生したのか。  
②事業実施の過程で発見できなかった理由と経緯は。  
③補助金の返還に至る経緯は。  
④今回の事案を踏まえて事務の処理をどう改善したか。

答弁 井山町長

①申請書、実績報告書の内訳は「建物設備費、機器備品」となっており、

機器、備品の説明が「特

殊浴槽、厨房機器」であり、配管、電気配線を伴い、設備工事が必要との認識で申請を受理し、交付決定、完成検査となった。

今回の件に関しては、法人やが、「備品を設備整備一式として、建築工事と一括発注すれば補助対象になる」と誤って思い込んだことも要因の一つである。また町、県の職員の精査も不十分だった。

②町の担当者も、法人側と同一の見解をもっていったと思われる。三者協議の中で県に理解を得て、交付決定されているという認識があったと思う。

発見された経緯は24年3月、県が2年に一度全法人を対象として行う一般監査で、法人やが提出した固定資産管理台帳から、システムキッチン等の備品に本補助金を充当していたことがその後の特別監査で発見された。

以降県、町、法人で工事内訳書を検証し補助対

象外経費の備品に充当していたことが確認された。

③法人側は、補助金が備品に充当されていることが確認された以降、補助金返還の意向を回答した。

この間の対応、検証結果については県の担当者は、県議会常任委員会へ報告し、意図的に補助金を不正取得したのではないと了承され、年度内の返還となった。

④事業の内容の確認、踏み込んだ検査等々徹底する。

チェック体制の甘さから関係者へ多大な迷惑をかけたことを反省し、今後このようなことのないよう努める。



▲ 今年も満開となった竹林公園の桜（平成26年4月7日）

一般質問 11月が聞きたい

# 公 民 館

## 学校統合後の隼小学校校舎及び、長水路公認隼プールの管理について

隼地区公民館長 西村 昭二

八頭町も合併10年目となり、大きく変わろうとしています。平成27年に中学校が統合され、小学校と保育園も統合されることとなっています。行政の長と議会議員は残された施設をどのように管理し利用していくのか住民の一人として関心を持って見えています。

特に、50メートルの長水路公認プールは、伝統をもった隼の宝、八頭町の宝です。隼小学校がなくなっても、八頭町の生徒たちが、体位向上のためにも夏の水泳シーズンには、このプールで体を鍛えられるように管理することを望みます。

また、まだまだ使用可能な校舎や施設を管理し使用するためにも、知恵を絞って有意義な活用方法を考え地域の住民に示して欲しい。

船岡地域の保育園が、坂田地内に新築移転されるように計画されていると聞いておりますが、統合によって空き校舎（船岡中学校）（隼小学校）の利用を考えてはどうですか、体育館や広いグラウンドがあります。

町報4月号に、通学等検討部会より通学方法が示されています。「距離により徒歩、自転車、それ以外は、すべてスクールバスにて通学」としてありますが、沿線住民としては、公共交通である若桜鉄道も利用できるようにしたいと思っています。

鉄道の開通によって発展してきた八頭町、若桜町においても、車社会となり鉄道の役割が薄れてきていますが、免許を持たない沿線住民にとっては生活に必要な鉄道であります。

一人でも多くの人に乗ってもらうためにも通学生徒に定期補助金をつけて、通学に便利な方法を生徒に選ばせていただきたいと思います。

鉄道会社は、通学に配慮して列車の運行ダイヤを組んだり、利用しやすい鉄道とする為には本数を増やしたり、安全な公共交通として経営を安定させるように努力しなければ、先はなくなると思います。

定例会本会議をケーブルテレビで中継しています

議会の傍聴をしてみませんか

TEL 0858-72-3975  
FAX 0858-72-2641  
(議会事務局)

八頭町議会  検索

月 日 曜	開議時刻	日 程	月 日 曜	開議時刻	日 程
6月6日	金	8:40 ○ 全員協議会 9:30 ○ 本 会 議 1 開 議 会 2 議 案 録 名 議 員 の 指 名 3 会 期 の 決 定 4 諸 般 の 報 告 ・ 請 願 ・ 陳 情 の 委 員 会 付 託 5 町 長 あ い さ つ 6 議 案 上 程 7 同 上 に 対 す る 町 長 の 提 案 理 由 の 説 明 散 会 後 ○ 全 員 協 議 会 ( 議 案 説 明 )	6月12日	木	9:30 ○ 本 会 議 1 町 政 に 対 す る 一 般 質 問
6月7日	土	休 日	6月13日	金	9:00 ○ 常 任 委 員 会
6月8日	日	休 日	6月14日	土	休 日
6月9日	月	9:30 ○ 本 会 議 1 議 案 に 対 す る 質 疑 2 議 案 常 任 委 員 会 付 託	6月15日	日	休 日
6月10日	火	9:30 ○ 本 会 議 1 町 政 に 対 す る 一 般 質 問	6月16日	月	9:00 ○ 常 任 委 員 会
6月11日	水	9:30 ○ 本 会 議 1 町 政 に 対 す る 一 般 質 問	6月17日	火	9:00 ○ 連 合 審 査 会
			6月18日	水	9:00 ○ 全 員 協 議 会
			6月19日	木	休 会 事 務 整 理 日
			6月20日	金	9:30 ○ 本 会 議 1 常 任 委 員 長 付 託 議 案 審 査 報 告 2 議 案 の 可 否 決 定 3 常 任 委 員 長 付 託 請 願 ・ 陳 情 審 査 報 告 4 請 願 ・ 陳 情 の 採 否 決 定 5 会 議

6月定例会(予定)

※変更になる場合があります

## 編集後記

3月定例会は補正予算を含め予算に関する議案を、従来の常任委員会に付託し審議していた方式から、議員全員で構成する予算特別委員会を設置し付託する方式に変更し審議しました。

今定例会での予算特別委員会の審議は約40時間におよび、問題点を指摘し一般会計当初予算を修正可決しました。

本会議では議案や委員長報告に対する質疑、討論、また一般質問、動議提出などでほぼ全議員(16人中の15人)が発言。非常に活発な議論が展開されましたが、それらの内容が伝わる編集を心がけました。

感想、ご意見などありましたらお聞かせ下さい。(記・川西 聡)

- 編集委員**
- 委員長 小倉 一博
  - 副委員長 高橋信一郎
  - 委員 山本 弘敏
  - 委員 坂根 實豊
  - 委員 川西 聡
  - 委員 尾島 勲
  - 委員 谷本 正敏

